

砺波市公立学校情報機器整備事業に係る計画

令和7年3月 策定

砺波市

目次

- 1 端末整備・更新計画
- 2 ネットワーク整備計画
- 3 校務 DX 計画
- 4 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

端末整備・更新計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数 ※令和7年度以降は見込	3,479	3,397	3,281	3,148	3,024
② 予備機を含む整備 上限台数	4,000	3,906	0	0	0
③ 整備台数 (予備機除く)	0	3,397	0	0	0
④ ③のうち基金事業に よるもの	0	3,397	0	0	0
⑤ 累積更新率	0%	100%	100%	100%	100%
⑥ 予備機整備台数	0	509	0	0	0
⑦ ⑥のうち基金事業に よるもの	0	509	0	0	0
⑧ 予備機整備率	0%	15%	0%	0%	0%

※①～⑧は未到来年度等にあつては推定値を記入する

1 更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

(1) 対象台数：4,020台

(2) 処分方法

- ・使用済端末を公共施設や福祉施設など地域で再利用：0台
- ・小型家電リサイクル法の認定事業者にて再使用・再資源化を委託：0台
- ・資源有効利用促進法の製造事業者にて再使用・再資源化を委託：0台
- ・その他（GIGA第2期調達先へ委託）：4,020台

(3) 端末のデータの消去方法 ※いずれかに○を付ける。

・自治体の職員が行う

・処分事業者へ委託する

(4) スケジュール（予定）

令和7年 3月 処分事業者選定

令和7年10月～ 第2期GIGAスクール端末の使用開始

令和7年10月～ 使用済端末を事業者へ引き渡し

ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合(%)

- ・ネットワーク速度が確保できている学校数 12校
- ・総学校数に占める割合 100%

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和6年12月までにネットワーク調査の結果、全ての学校においてネットワーク速度は十分に確保できている。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワーク調査の結果、改善事項は無し。

(3) ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

ネットワーク調査の結果、課題は無し。

3 その他

現時点でワークアセスメントを踏まえた課題は見当たらないが、今後のネットワークの運用について下記の点に注意し、適宜対応する。

- ・児童・生徒による多数同時アクセス時によるネットワークの延滞状況
- ・ネットワーク速度に起因する GIGA スクール端末の起動時間の遅延
- ・GIGA スクール端末の更新による機種変更後のネットワーク接続状況

校務D X計画

1 計画の目的

「G I G Aスクール構想」の推進に基づき、教育D Xの一環として校務のデジタル化を進める。砺波市教育大綱の基本方針「ともに輝き支えあう人づくり」を目的とし、効率的な校務運営を通じて教職員の負担軽減と教育効果の向上を目指す。

2 具体的目標

(1) クラウド活用の推進

F A Xや押印の原則廃止、校務支援システムのクラウド化を実現し、ペーパーレス化を推進する。

(2) 情報通信技術（I C T）の活用拡大

教育現場でのI C T活用を強化し、教職員間および保護者等との連携を円滑化する。

(3) 教職員の業務負担軽減

効率的な校務運営を可能にし、教職員が子供たちの教育活動に集中できる環境を整備する。

(4) セキュリティとデータ管理

個人情報や重要データの安全性を確保しながら、デジタル化の範囲を拡大する。

3 計画に基づく具体的取り組み

(1) クラウド活用の推進

クラウドを活用し、以下を実現

- ・名簿管理のデジタル化
- ・教職員による会議資料のデジタル化とオンライン配付
- ・校務に関する全体管理の効率化

(2) I C T環境の充実

学校I C T環境の整備・活用（砺波市教育大綱より）

- ・学校施設に高速ネットワークを整備し、全教室でI C Tが円滑に利用できる環境を構築
- ・教職員を対象としたI C T活用研修の実施

(3) 教職員の業務負担軽減

- ・校務システムの導入による業務の効率化
- ・教育委員会や保護者等とのオンラインで迅速な連携を実現
- ・書類作成・管理業務の自動化を進め、負担を軽減

(4) 安全管理とリスク対応

- ・デジタル化に伴うセキュリティ対策の強化

1人1台端末の利活用に係る計画

1 計画の背景と目的

砺波市教育大綱における「自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進」やICT環境の整備方針を受け、GIGAスクール構想の進展を支え、すべての児童生徒に対し、個別最適化された学びと協働的な学びを実現するために、本計画を策定する。

2 ICT環境によって実現を目指す学びの姿

以下の目標を実現する学びの姿を描く。

- (1) 個別最適な学び：各児童生徒の理解度や学習進度に応じた指導を実現。
- (2) 協働的な学び：児童生徒同士や教員との意見交換を円滑にするためのICT活用。

3 GIGA第1期の総括

1人1台端末と通信ネットワークの整備により以下の成果・課題が得られた。

- ・学習活動のデジタル化推進
- ・各学校における端末利用の向上
- ・ネットワーク速度の学校規模による格差
- ・教職員のICTスキル向上の必要性
- ・家庭でのGIGAスクール端末の管理

4 1人1台端末の利活用方策

(1) 教育活動への端末活用

- ・学びの個別化と協働的な学びを促進するため、児童生徒のICTスキル向上を図る

(2) 学びの保障

- ・不登校や特別支援を必要とする児童生徒に端末を活用した教育を実施
- ・外国人児童や病気療養児等への支援
- ・すべての児童生徒が1人1台端末を利用した個別最適な学びの環境を利活用していくために、1人1台端末環境を引き続き維持していく

(3) ネットワーク環境の改善

- ・すべての学校で必要なネットワーク速度を確保するための運用支援体制の確立

5 期待される成果

- ・児童生徒が自ら考え、発信する力を養成
- ・学びの場における学校・家庭間の連携
- ・教育格差の是正と教育環境の向上